

Windows Liveフォト ギャラリーの利用

Windows 7 の種類 (Edition)

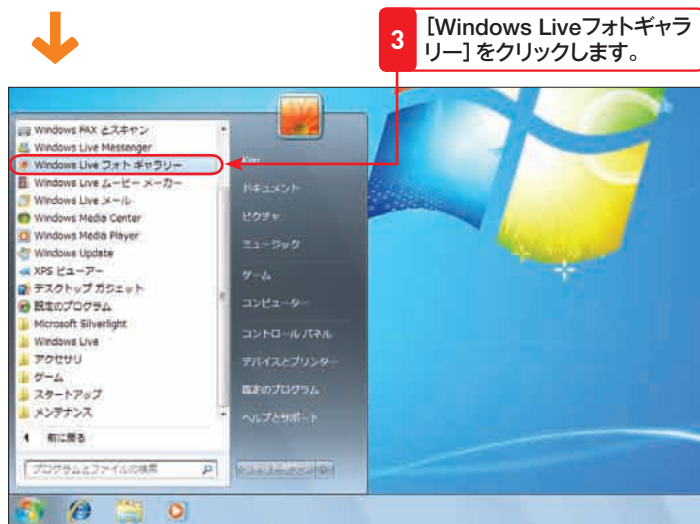
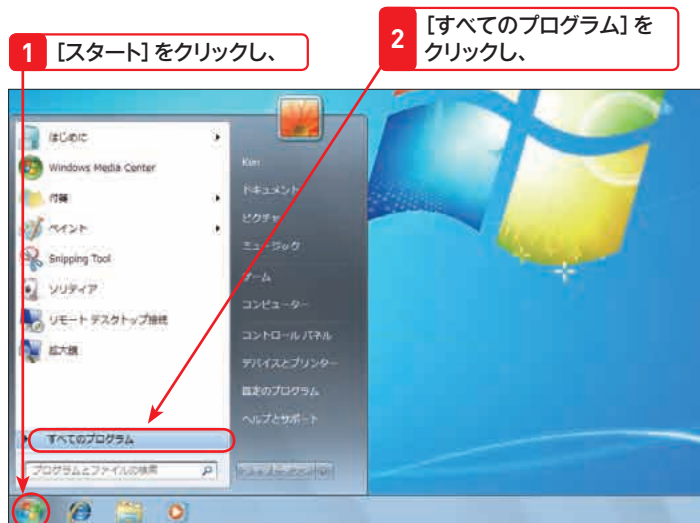
Home Premium	
Starter	Enterprise
Professional	Ultimate

写真を管理するためには「Windows Liveフォトギャラリー」を利用します。Windows Liveフォトギャラリーは人物写真を自動認識したり、タグを付けるなどたくさんの機能があるので、楽しみながら整理できます。Windows Liveフォトギャラリーを利用するには、新たにインストールする必要があります。

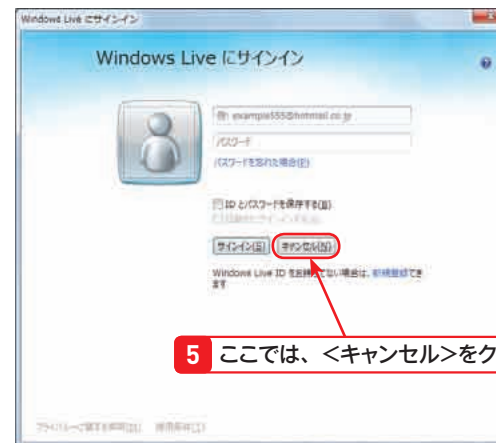
1 Windows Liveフォトギャラリーを起動する

Memo Windows Live フォトギャラリーとは

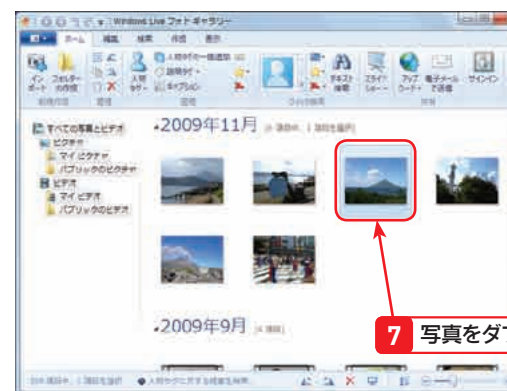
「Windows Liveフォトギャラリー」とは、写真やビデオなどを管理するためのアプリケーションです。露出の調整や赤目の修整なども可能です。Windows 7には、初期状態ではインストールされていないので、P.32を参考にインストールしてください。なお、Windows Vistaで標準搭載されていた「Windowsフォトギャラリー」は、Windows 7では搭載されなくなりました。



4 初めて起動した場合は、<Windows Liveにサインイン>ダイアログボックスが表示されます(右のMemo参照)。

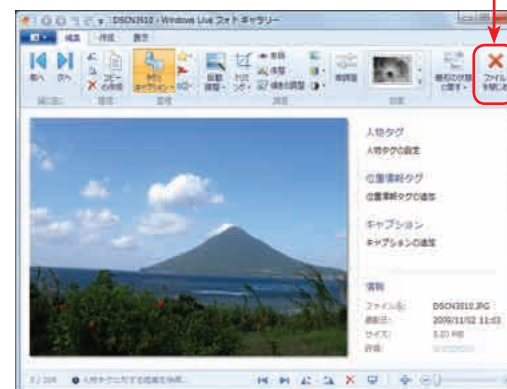


6 Windows Liveフォトギャラリーが起動します。



8 写真が表示されます。

9 <ファイルを閉じる>をクリックすると、

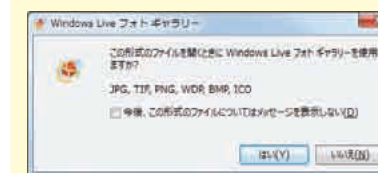


Memo Windows Live ID にサインインする

Windows Liveフォトギャラリーを初めて起動すると、<Windows Liveにサインイン>ダイアログボックスが表示されます。これは、Windows Liveフォトギャラリーで管理する写真を、インターネットにアップロードするための機能を備えているためです。不要な場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。Windows Live IDについてはP.186を参照してください。

Memo 関連付けを変更する

Windows Liveフォトギャラリーを起動すると、主な画像ファイルの関連付けを、標準のWindowsフォトビューアーからWindows Liveフォトギャラリーに変更する確認ダイアログボックスが表示されることがあります。<はい>ボタンをクリックすると関連付けが変更され、<いいえ>ボタンをクリックするとWindowsフォトビューアーのままになります。



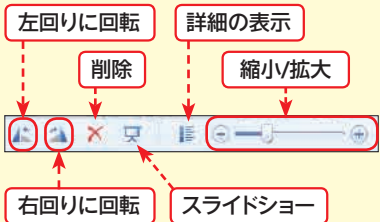
2 Windows Live フォトギャラリーの使い方

Memo 表示する写真の変更

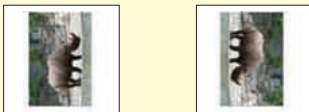
撮影日や説明タグ、人物タグ (P.207 参照) を使って分類表示できます。

Hint さまざまな表示機能

Windows Live フォトギャラリーのステータスバーにあるボタンをクリックすると、写真をさまざまな表示に切り替えることができます。



- 左回りに回転
- 右回りに回転



- 詳細表示



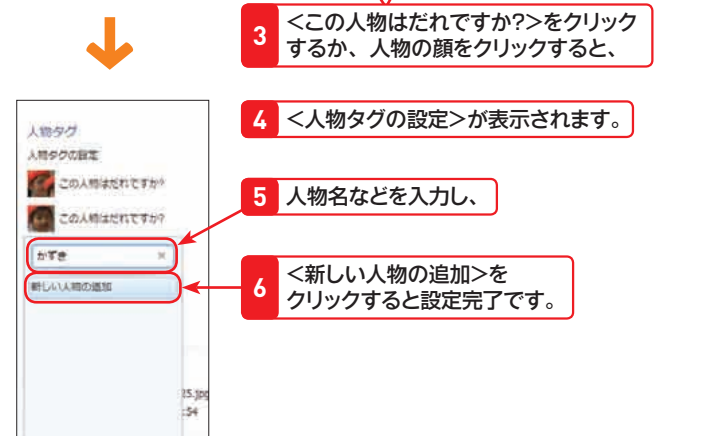
- 拡大



- 縮小



3 人物タグを設定する

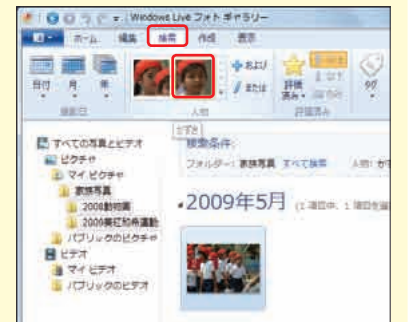


Key word 人物タグ

Windows Live フォトギャラリーには、写っている人物を自動認識する機能があります。また複数の人物に「人物タグ」というタグを付けることが可能です。登録したタグはナビゲーションウィンドウに表示されるので、写真の管理がかんたんに becomes.

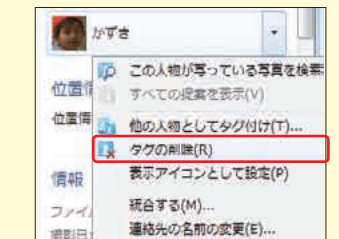
Hint 人物タグで写真を絞り込む

<検索>タブをクリックし、作成した人物タグをポイントすると、写真を絞り込んで表示できます。



Memo 人物タグの削除

設定した人物タグを削除するには、人物タグをクリックして、<タグの削除>をクリックします。



Section 67

写真の編集

Windows 7 の種類 (Edition)

Home Premium	
Starter	Enterprise
Professional	Ultimate

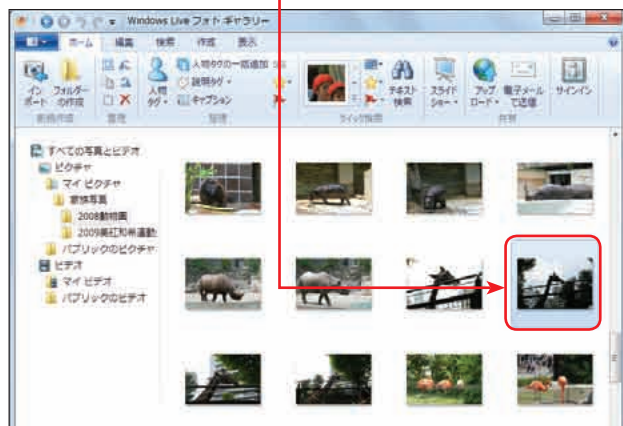
Windows Live フォトギャラリーには、**写真を修整する**機能があります。画像の回転の他、露出や色味を調整してよりきれいな写真に仕上げたり、人物写真で赤目が発生した場合の修整もできます。また**不要な部分をトリミング**(切り抜くこと)して、余分な背景を消すことも可能です。

1 写真の自動調整を行う

Memo 写真の自動調整

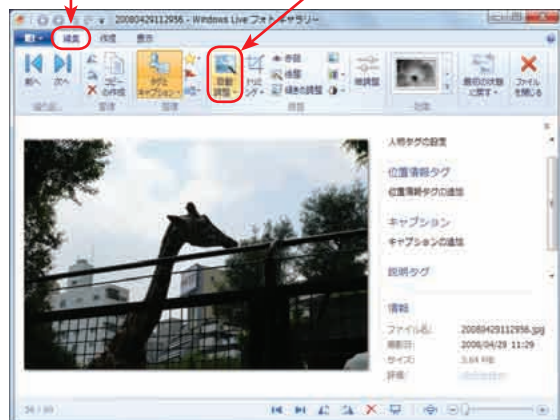
Windows フォトギャラリーには、暗い写真を明るくしたり、ぼやけている写真をはっきりさせたり、傾きを直すなど、写真を最適な状態に自動調整する機能があります。

1 調整したい写真をダブルクリックすると、



2 写真が拡大表示されます。

3 <編集>をクリックして、4 <自動調整>をクリックすると、

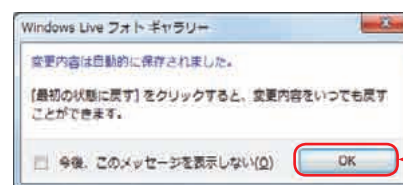


5 写真が最適な状態に調整されます。

6 <ファイルを閉じる>をクリックすると(右のMemo参照)、



7 画像が自動的に保存されたことを示すダイアログボックスが表示されるので、

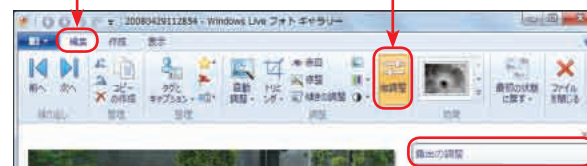


8 <OK>をクリックします。

2 露出の調整を行う

1 <編集>をクリックし、

2 <微調整>をクリックして、



3 <露出の調整>をクリックします。

4 <明るさ><コントラスト><シャドウ><ハイライト>の sliders を左右に動かして調整します。



5 <ファイルを閉じる>をクリックして修正内容を保存します。

Memo コピーしてから作業する

Windows Live フォトギャラリーに戻ると、修整内容が保存されてしまいます。修整中の写真を間違えて保存してしまう恐れがあるので、あらかじめ写真のコピーを作成してから、修整するようにしてください。

Hint <最初の状態に戻す>を活用する

自動調整や色の調整をして、画像が思いどおりに修整できなかった場合は、<最初の状態に戻す>ボタンをクリックすると、修整前の状態に戻すことができます。

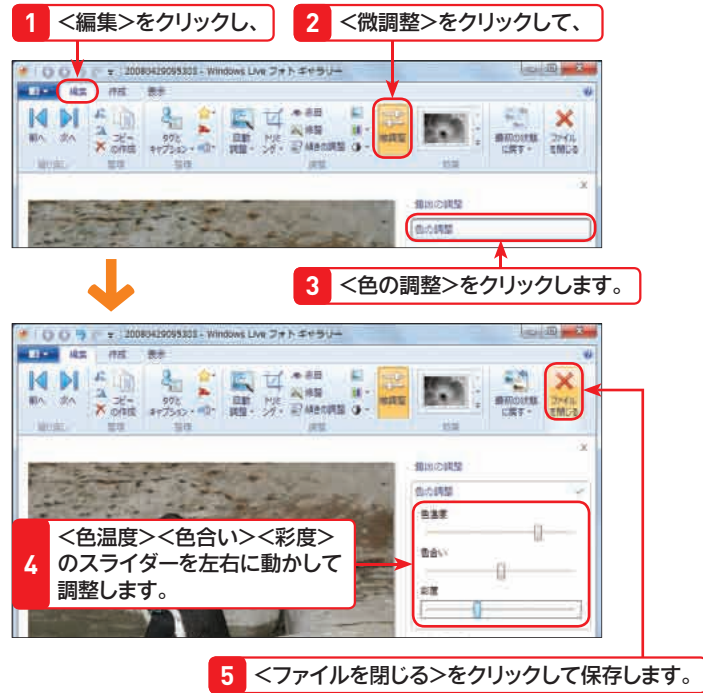
Key word 露出

デジタルカメラの CCD や CMOS センサーに当てる光の量を指します。写真を撮るには天候や撮影状況など、デジタルカメラの感度に応じて、光の量を調節する必要があります。

3 色を調整する

Memo 色温度

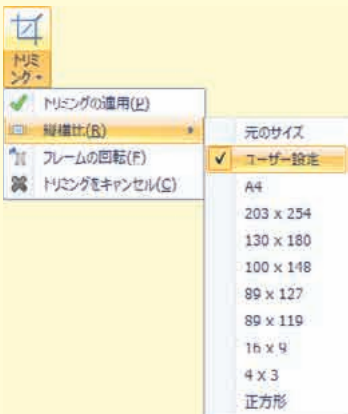
色が放つ光源に含まれる、青紫光と赤色光の相対的な強さを表す数値です。色温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。



4 写真をトリミングする

Memo トリミング枠の縦横比

初期状態ではユーザーが自由に調整できる<ユーザー設定>が選択されていますが、<トリミング>→<縦横比>をクリックすると、はがきや書類に使用できるサイズを選択できます。



Key word トリミング

トリミングとは、不要な部分を削除して、画像を整えることです。



5 赤目を修整する



Key word 赤目現象

暗い場所でフラッシュを使って撮影すると、人間の目が赤く写ってしまう現象です。

Memo 拡大時に移動する

[Alt] キーを押しながらドラッグすると、画像を拡大表示した状態で表示している部分を移動できます。

ビデオ映像の取り込み

Windows 7 の種類 (Edition)	
Home Premium	
Starter	Enterprise
Professional	Ultimate

Windows 7では、特別なソフトウェアを用意しなくても、**デジタルビデオで撮影したビデオ映像をパソコンに取り込む**ことが可能です。動画ファイルは、Windows Media Player 12で再生するか、Windows Liveムービーメーカーで編集します。

1 デジタルビデオのビデオ映像を取り込む

Memo デジタルビデオカメラの接続

パソコンとデジタルビデオカメラは、USBケーブルやIEEE 1394ケーブルで接続します。機種によって動作が異なることがあるので、説明書を確認してください。本書では、キャノンの「iVIS HF21」を一例に解説しています。執筆時点の2009年9月現在では、Windows 7対応のドライバーは準備段階です。また、ご利用の際にはウェブサイトでのドライバーの有無を確認し、自己責任でご利用ください。



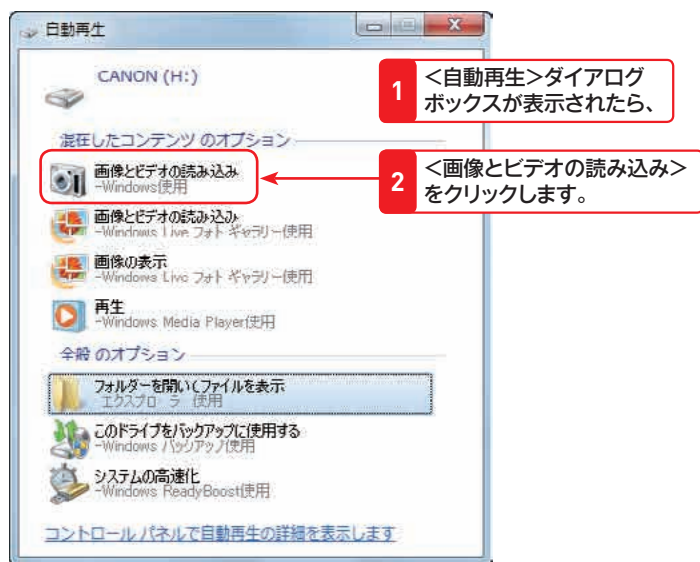
Hint 読み込み設定

<画像とビデオの読み込み>ダイアログボックスの<読み込み設定>をクリックすると、動画ファイルの保存フォルダーやフォルダー名、ファイル名など、細かい設定が行えます。



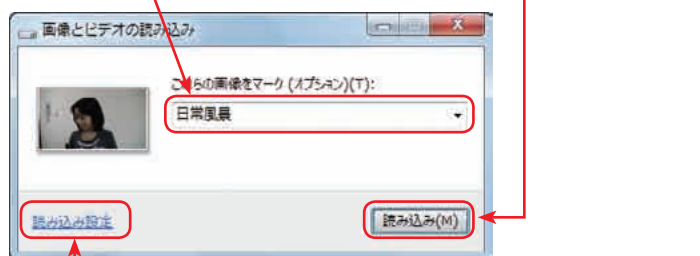
デジタルビデオカメラをパソコンに接続しておきます。

デジタルビデオカメラの電源を入れ、接続モードなどに切り替えます。



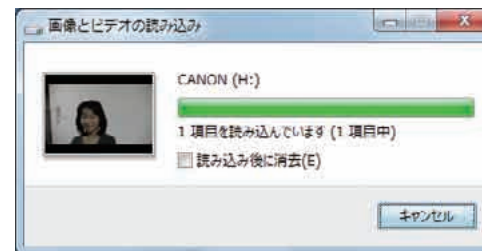
3 動画ファイルに付ける名前を入力し、

4 <読み込み>をクリックすると、



左のHint参照。

5 ビデオ映像が取り込まれます。



6 エクスプローラーが表示され、動画ファイルが作成されます。

7 動画ファイルをダブルクリックすると、



8 Windows Media Player 12で再生されます。



Memo 動画ファイルの保存先

取り込んだ動画ファイルは、ユーザーの<マイピクチャ>フォルダーに保存され、エクスプローラーでは<ピクチャ>ライブラリから参照できます。保存先フォルダーを変更する場合<読み込み設定>ダイアログボックスの<ビデオの読み込み先>にある<参照>ボタンをクリックして、<マイビデオ>フォルダーなどを選択してください。

ビデオ映像の編集

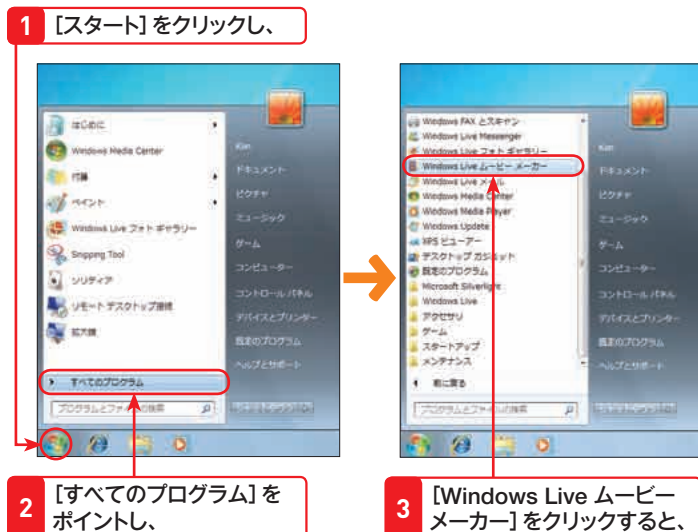
Windows 7 の種類 (Edition)	
Home Premium	
Starter	Enterprise
Professional	Ultimate

パソコンに取り込んだビデオ映像は、Windows Liveムービーメーカーを使って、見出しを追加したり、特殊効果を付けて華やかな演出を施すなど、1つの作品として編集することができます。また、オリジナルの作品をDVD-Rに書き込んだり、保存することも可能です。

1 Windows Liveムービーメーカーを起動する

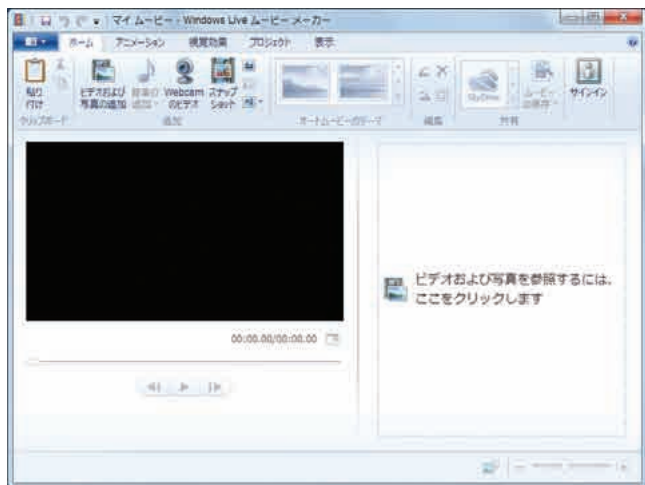
Memo Windows Liveムービーメーカーとは

「Windows Liveムービーメーカー」は、ビデオを再生するだけでなく、写真や動画を編集することができるアプリケーションです。Windows 7には、初期状態ではインストールされていないので、P.32を参考にインストールしてください。



1 [スタート]をクリックし、
2 [すべてのプログラム]をポイントし、
3 [Windows Liveムービーメーカー]をクリックすると、

4 Windows Liveムービーメーカーが起動します。

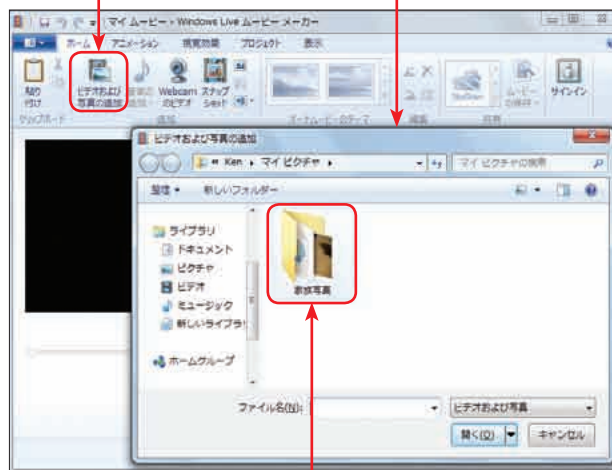


Hint 起動できない場合

Windows Liveムービーメーカーは、お使いのパソコンがシステムの必要要件を満たしていない場合など、起動できないことがあります。

2 ビデオ映像を取り込む

1 <ビデオおよび写真の追加>をクリックすると、
2 エクスプローラーが表示されます。

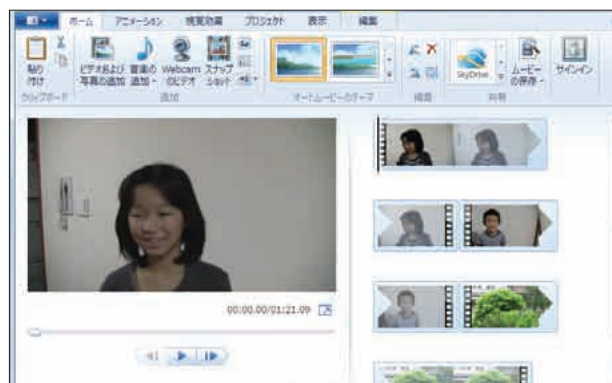


3 動画ファイルを保存したフォルダーをダブルクリックし、

4 編集する動画ファイルを選択して、
5 <開く>をクリックすると、



6 動画ファイルが取り込まれます。



Hint 動画ファイルの場所

取り込んだビデオ映像は動画ファイルとして「マイピクチャ」フォルダーに保存されます。<読み込み設定>ダイアログボックスの<ビデオの読み込み先>を変更した場合は、そのフォルダーを参照してください。

Hint 対応する形式

Windows Liveムービーメーカーでは、Windows MediaビデオやAVI形式、Windows Media Centerの録画形式、MPEG (1、2、4) などさまざまな形式を取り込むことが可能です。効果に使う画像や、BGMの音楽形式も多くの種類に対応しています。

Memo 複数ファイルの選択方法

[Shift] キーを押しながらファイルをクリックしていくことで、複数の動画ファイルをまとめて選択できます。

3 切り替え効果を追加する

Key word 切り替え効果

たとえば映画を見ていて、あるシーンが終わるとき、画面がゆっくり暗くなって次のシーンに移り変わります。こうしたシーンとシーンのつなぎ目に入れる特殊な効果を切り替え効果といいます。

Hint 切り替え効果を選択する

<アニメーション>タブの<切り替え効果>グループの をクリックし、ウィンドウを下方方向に広げると、効果を一覧から選択できます。

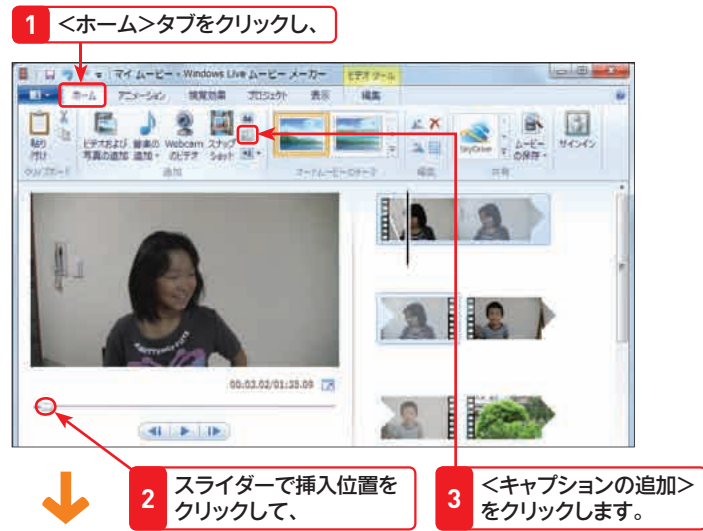


ここをクリックすると、視覚効果が適用された状態で動画を再生できます。

4 キャプションを追加する

Hint 効果を示すアイコン

効果を適用すると、動画ファイルのプレビュー画面に、効果を示すアイコンが加わります。



2 スライダーで挿入位置をクリックして、

3 <キャプションの追加>をクリックします。

Memo タイトルとキャプションの違い

「タイトル」はビデオ映像が始まる時に表示される題名を、新しいアイテムとして挿入し、「キャプション」はビデオ映像の上に文字を挿入します。また、「クレジット」はビデオ映像末尾に新しいアイテムとして文書などを挿入します。



4 テキストボックスに文字を入力したら、

5 何もないところをクリックします。

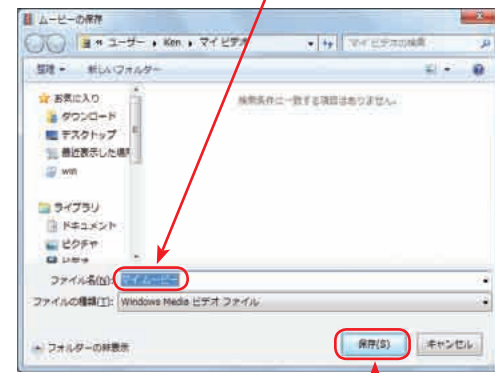
5 ファイルを作成する



右のMemo参照。

3 <高解像度ディスプレイ用>をクリックし、

4 ファイルの保存先やファイル名を入力して、

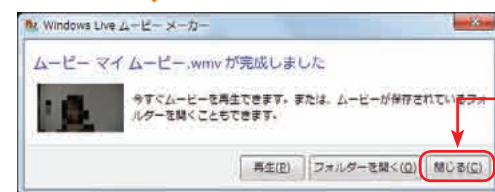


5 <保存>をクリックすると、

6 出力が始まり、



7 ファイルが作成されます。



8 <閉じる>をクリックします。

Memo 動画を共有するには?

<共有>グループにある をクリックすると、動画サイトYouTube(ユーチューブ)など、ムービーをWebサイトにアップロードすることができます。



Memo 動画ファイルの保存先

動画ファイルの保存先には、ユーザーの<マイビデオ>フォルダーが開きます。特に問題がなければこのフォルダーに保存しましょう。エクスプローラーのナビゲーションウィンドウで変更すれば、デスクトップなどに保存することもできます。

DVD-Rの書き込み

Windows 7 の種類 (Edition)	
Home Premium	
Starter	Enterprise
Professional	Ultimate

編集したビデオ映像をDVDに書き込んで、オリジナルのDVDを作成することができます。DVDは家庭用DVDプレーヤーなどで再生できるようにするため、DVDビデオという形式で作成します。DVDビデオの作成後は、自動的にWindows DVDメーカーが起動し、これを利用してDVD-Rに書き込みます。

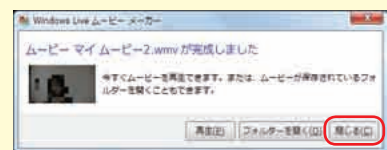
1 DVDビデオを作成する

Memo DVD-R作成の前に行うこと

このセクションで行っている解説は、Windows Liveムービーメーカーでビデオ映像の編集が終わり、後はDVDビデオ形式のファイルを作成し、DVD-Rに書き込むのみの状態になっていることを前提に解説しています。Windows Liveムービーメーカーでビデオ映像の編集を行う方法についてはP.214を参照してください。

Memo ファイルの作成後

ファイルの作成が終わると、作成完了を告げるダイアログボックスが表示されるので、<閉じる>ボタンをクリックします。



Windows Liveムービーメーカーでビデオ映像の編集が終わった状態から説明を始めます。

- <ホーム>をクリックし、
- <ムービーの保存>をクリックして、
- <DVDへの書き込み>をクリックします。
- <ムービーの保存>ダイアログボックスが表示されます。
- ファイル名を入力し、
- <保存>をクリックします。
- DVDビデオに適した形式でファイルが作成されます。

左のMemo参照。

8 自動的にWindows DVDメーカーが起動するので、DVD-Rをドライブにセットします。

ここをクリックすると、別のビデオ映像も追加できます。

ビデオ映像の順番を入れ替えます。

9 <次へ>をクリックします。

DVDのタイトルを変更します。

10 メニューの編集を行います。 11 好きなデザインを選択すると、

右のStepup参照。

12 画面にそのデザインが表示されます。

13 <書き込み>をクリックします。

14 DVD-Rに書き込まれます。

15 DVDビデオが作成されました。

16 <閉じる>をクリックします。

<このDVDの別のコピーを作成する>をクリックすると、同じDVDビデオをもう1枚作成できます。

Memo ディスクを挿入しておく

Windows DVDメーカーが起動したら、空のDVD-Rをドライブのトレイにセットしておいてください。

Step up 詳細な編集を行う

Windows DVDメーカーのメニューにあるボタンをクリックすると、細かな編集が行えます。

- ・<プレビュー>ボタン
選択したメニューのデザインが、どのような動きをするかを実際に確認できます。
- ・<メニューテキスト>ボタン
DVDビデオのメニューに表示される文字を編集したりかんたんな加工が行えます。
- ・<メニューのカスタマイズ>ボタン
DVDビデオのメニューに動画や音楽を追加できます。
- ・<スライドショー>ボタン
DVDビデオにデジタルカメラで撮影した写真を加えるとき、スライドショーのBGMや写真を表示する長さ、効果を設定します。

Hint Windows DVDメーカーを終了する

Windows DVDメーカーを終了するときには<閉じる> をクリックします。すると、プロジェクトファイルの保存を求められます。ファイル名を付けて保存すると、次回起動したときにも同じ設定でDVDビデオを作成できます。



Memo

CDやDVDを挿入したときの動作を決める<自動再生>ダイアログボックス

CDやDVDをドライブに挿入すると、<自動再生>ダイアログボックスが表示されます。<自動再生>ダイアログボックスでは、ディスクの内容を確認します。たとえばディスクの中身が画像ファイルが多ければ、画像／動画の取り込みを行うアプリケーションが選択肢に表示されます。またディスクの内容によって選択できるアプリケーションは異なります。ディスクの内容を確認するときは<フォルダーを開いてファイルを表示>をクリックすると、ディスクの内容がエクスプローラーで表示されます。<自動再生>ダイアログボックスが表示されない場合は、コントロールパネルから設定を確認してください。ただし、この設定を行っても環境によっては<自動再生>ダイアログボックスが表示されないパソコンもあります。

<自動再生>ダイアログボックスの利用方法

- 1 ドライブにディスクを挿入し、読み込みを終えると、
- 2 <自動再生>ダイアログボックスが表示されます。

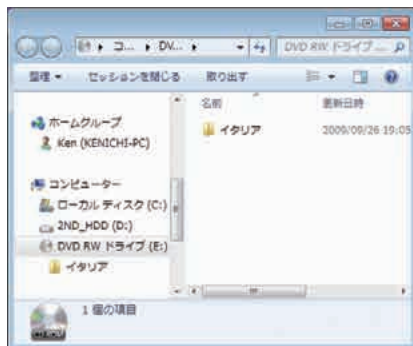
内容によって表示されるアプリケーションは異なります。



- 3 ディスクの内容をエクスプローラーで開くには、ここをクリックします。

何もしないときは<閉じる> をクリックします。

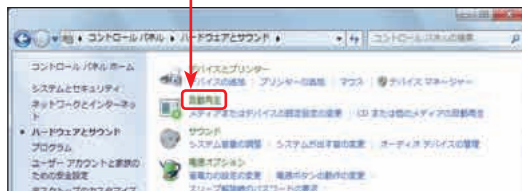
- 4 ディスクの内容が表示されます。

**<自動再生>ダイアログボックスが表示されない場合**

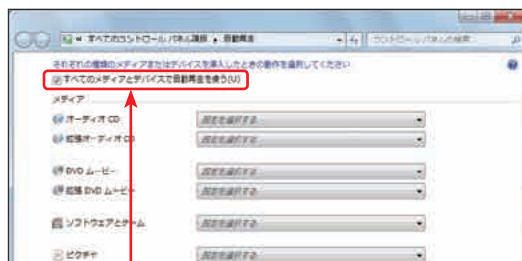
- 1 [スタート] → [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 <ハードウェアとサウンド>をクリックします。



- 3 <自動再生>をクリックします。



- 4 <自動再生>の設定ウィンドウが表示されます。



- 5 <すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う>にチェックが入っているか確認します。